



図10 福生エネルギー市民会議のイメージ

なお、『福生エネルギー市民会議』には、必要に応じて下記のような専門部会を設けていくこととします。

【専門部会例】

- 建築・省エネルギー部会
- 新エネルギー部会
- 交通・まちづくり部会
- コミュニティビジネス推進部会
- システム化技術部会

など

(2) 「チームマイナス50%」キャンペーン

これらの取り組みを包括し、象徴するものとして『チームマイナス50%』活動を展開します。これは個人のレベルから、商店、企業、事業所、学校、行政、あるいは町内会、自治会など、あらゆる主体が自由意思で参加し、それぞれができる範囲でCO₂削減に取り組もうという活動です。福生市以外の自治体や企業、個人の参加も可能とします。

共通のロゴマークやキャラクターを設定し、啓発パンフレット、ステッカーやポスターなどを作成して活用します。また、市が実施する環境問題やエネルギー関連のイベント、シンポジウムなどに「チームマイナス50%」を冠として用いることで共通化をはかり、広汎な市民へのアピール力を高めます。

運営主体は「福生エネルギー市民会議」とし、事務局をエネルギー・地球温暖化対策担当（仮称）に置きます。

また、これ以外にも、2章に記したような市内のクリーンエネルギー自動車オーナー